

# 大庭城を知らう!!

ささやま学級 2025. 05. 20

## 大庭城の歴史

今回ウォーキングは大庭城址公園ですので大庭城の歴史をちょっと調べてみました。休憩時に目を通して見て下さい。

大庭城を築城(平安時代末期)したのは大庭景親の父にあたる大庭影宗と言われてています。

景親らの軍事拠点として重要な役割をはたしたと想定されています。

石橋山の戦いで一度は源頼朝に勝ったものの、一族のほとんどが筑前(今の福岡県)に渡ってしまうが、影親は最後まで抵抗し、捕らえられて斬首されました。その後兄の大庭影兼(小次郎影兼)が和田合戦に巻き込まれ大庭氏は滅亡したとされていましたが、現在では筑後(現在の福岡)に逃れた説が有力とされています。

大庭氏の子孫および一族の存続を示す具体的な記録の一つとして、相模国の大庭三郎影連が備後(現在の広島県)新庄本郷に地頭として任命され、建保元年(1213年)に当地で築城した事例がみえる。のち大場氏と称した。なおこれも大庭城(または大場山城、本郷城などの別称あり)との呼称が残っています。

のち、扇谷上杉氏がこの地を納め、江戸城を築城した上杉家家臣の太田道灌が鎌倉と糟屋館の中間地点のこの地に最新の技術をとり入れ築城工事をおこないました。

その後、北条氏により大庭城は落城してしまいます。なおこの戦いには「舟地藏伝説」が残っています。北条早雲は大庭城を大改修しましたが、玉縄城を築城したので利用価値が低くなり後北条氏が滅ぶと廃城(1590年ころ)となってしまいました。

## 大庭城址公園

今は周囲の景観も一変していますが、引地川、小糸川にはさまれ小高い大庭城址から、当時の新田「大庭御厨(神社に寄進した荘園のこと)」を展望すれば気分はタイムスリップ!! 春には桜が、今はバラが見頃です。ほかにも梅、コブシモクレン、フジ、紫陽花などが植栽されています。管理事務所にはパネルや模型などが展示されています。興味のある方は見学してはいかがでしょうか。



大庭城屋敷跡



大庭城址説明板



大庭城址公園広場の桜



大庭城址公園内の散歩道



バラ園



遺構